
超星勇者グランビートたつや！

布都御魂(偽)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

超星勇者グランビートたつや！

【Nコード】

N2063Z

【作者名】

布都御魂（偽）

【あらすじ】

勇者に憧れる少年は、星の力を手に未来を守る……？？？この物語は『魔法少女リリカルなのはの世界を舞台に勇者的お約束&超魔神英雄伝ワタル要素』を含んでいます。処女作ですが、頑張って行きます！？？？合言葉は『掴め、星の力！』

プロローグ（前書き）

頑張っ て行きますヨー！

プロローグ

『これが、勇者の！あ・か・しだああああ！！』

『ば、馬鹿な！これが、勇者だとも言つのか！！ぬうううあああ
あああ！！』

？？？小さい頃から、テレビの中の勇者に憧れた僕？？？

「それでね！敵のボスを、バーンってやっつけちゃうの！！」

「そっか、すごいな！」

「うん！だって、勇者だもん！」

？？？その姿は、理不尽を勇気で覆し、その勇姿こそ、絶対を希望
で破壊した勇者達？？？

「へえー、じゃあ、たつくんの夢って…」

「もちろん！勇者だよ！」

？？？しかしそれは架空で、所詮は憧れ。夢でしかなく？？？

「みんな、忙しいし、お兄ちゃんも怖い顔をしたまま。でもね？なのは平気だよ？だって良い子だもん」

「じゃあ、僕がそばに居る。良い子だとか悪い子だとかは関係無く、『高町なのは』のそばに居るから…！」

「幼馴染のあの子の笑顔を、取り戻せなかった？？」

「翌日、幼馴染のあの子は僕にこう言った？？」

「あのね、さつき知らない男の子が『お父さんを治す』って言うてくれたの。よく分からないけど、お父さんが帰ってくるなら嬉しいの！」

「…そっか」

「この時、僕の中の感情は悔みに焦燥、怒りだった？？」

「悔みは自分にできないことを平然とやってのける相手に？？」

「焦燥は、幼馴染のあの子が遠く行きそうな気がして？？」

「怒りは、何もできない無力な自分に？？」

「気付いたら僕は走っていて、いつもの夕陽に染まる公園へ来ていた？？」

「お前が高町なのは幼馴染か…」
「え…？」

「…？後ろを振り向くと、銀髪に左右非対称の色の目をした同じくらしい美少年が立っていた…？」

「お前、転生者だろ？」
「は…？」

「…？転生、当時の僕はそんな言葉は辞書を引かないとわからない年齢だった。それでも、目の前の美少年が何を言っているのか分らなかった…？」

「魔力はそこそこ、能力も無さそうだし、ただの雑魚、モブか」
「君は一体何を言ってる…」

「…？嘲笑うような笑顔に薄ら寒いものを感じ取った…？」

「明日の夜、高町なのは父を治療する。その後に、お前を始末する」
「なっ…！」

「…？勇者の敵の中の一人が言っていた言葉、「始末」…つまり殺

すということ???

???その言葉に衝撃を受けていた僕は、奴がいなくなっていたことに気付かなかった???

???困惑したまま家に帰宅した僕は部屋のベッドに倒れ込む???

「ようこそ、歓迎しよう。少年」

???僕の中の何かが、動き出した気がした???

プロローグ（後書き）

後編へ続きますヨー！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2063z/>

超星勇者グランビートたつや！

2011年12月7日16時51分発行